

信教の自由を守る 2・11札幌集会

講演 “バベルの塔”の敵意と差別をこえる 歓待と友愛の世界に向かって

講師より

講師の金性済牧師が聖書研究のために渡米したのは冷戦が終結する前夜（1989年）でした。それが契機となり、聖書の中の「寄留者」の研究に着手します。あれから30年の歳月の中で世界と日本は何を失い、また隠れていた何があらわとなって変貌してきたか…。講師は、聖書研究から得た視点から、この問いに光を当てようとしています。2019年には日韓関係、そして朝鮮半島の南北関係も悪化する中で、講師はNCC総幹事として、日朝の真実の和解を求めるひとりの日本人元老牧師の願いに応え、平壤のキリスト教会に書簡をもって訪ねました。幾つもの困難の果てに実現した忘れ難い旅の意味についても振り返ります。2024年は能登半島地震という大きな悲しみの中で幕を開けました。亡くなられた方々を悼み、被災者が守られますように心より祈ります。同時に、二つの戦争に直面するこの世界の闇とは？また、私たちの暮らす日本と朝鮮半島を含む東北アジアの中に突き刺さったトゲとは？この問いについて講演を通して共に考えます。



講師 金性済 (キム・ソンジェ) 牧師

日本キリスト教協議会 (NCC) 総幹事

◇ とき 2024年2月11日(日)午後1時30分

◇ ところ 日本キリスト教団 札幌北光教会
(中央区大通西1 テレビ塔南側)

主催／札幌キリスト教連合会 信教の自由を守る委員会
(連絡先 電話 080(9579)0077 一線)